

# どんぐり 実生

〒330-0042 さいたま市浦和区木崎3-1-1

埼玉県立浦和西高内 浦和西高斜面林友の会事務局 電話 048-831-4847

メール件名は「斜面林」と記入してください。

入会の申し込み、問い合わせメール 3220028501@jcom.home.ne.jp

『実生』投稿受付 ashinagako@gmail.com

ホームページ <http://unshamenrin.wix.com/un-shamenrin>



《4月12日》

天気：晴れ

参加人数：38名

活動内容 ①斜面林の植物観察  
②アズマネザサなど雑草刈り

春です。暖かく穏やかで気持ちがいいです。



URAWANISHI.SHAMENRIN

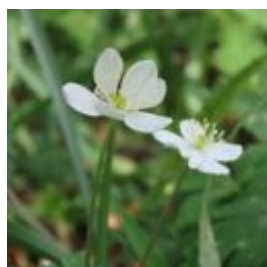
Instagram QRコード

## ①斜面林の植物観察

春になると斜面林の中にはいろいろな花が咲きます。群生のように咲き乱れていたり、小さな花がひっそりと咲いているものもあります。

「なんだ？この形！」と驚くようなものもあります。毎年春になると「今年は咲いてくれるかな？」とワクワクします。

見かけた花たち：ニリンソウ、チゴユリ、イカリソウ、シャガ、ムラサキケマン、スミレ、ウグイスカグラ、トウダイグサ、ヤマブキ



ニリンソウ



チゴユリ



イカリソウ



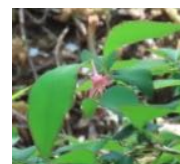
シャガ



ムラサキケマン



スミレ



ウグイスカグラ

## ②アズマネザサなど雑草刈り

暖かくなってくると雑草も一気に増えます。同じ植物でも鑑賞されるのと邪魔者扱いされるのと…。申し訳ないですね。

アズマネザサの他に常緑樹の木やドクダミなどが刈り取りの対象になります。前回、生物部の生徒さんが研究発表したように、自然豊かな里山を守るためには少し人間の手も入れることが必要になります。



黙々と草刈りします



かつての同僚と久しぶりのご対面で、作業しながら木陰で談笑する先生方。西高に赴任すると「斜面林友の会担当」があり、「何それ？」となる先生が多いとか？！

不定期  
会員紹介コーナー



ウラシマンソウ



ムサシアブミ



宗方滋さん  
開放講座からのベテラン  
さんです。近隣でも大活  
躍で「カンゾウを育てる  
会」で見沼代用水沿いに  
カンゾウの花を沢山咲か  
せたり、ホタルを飛ばす  
活動もしています。



小田耕平さん  
宗方さんからお声がか  
かり参加しました。とても  
配慮のある方で色々助け  
られています。力仕事も  
得意で、高齢化したこの  
会ではとても頼りにして  
います。

ウラシマンソウやムサシアブミはサトイモ科で  
形がとても奇妙です。  
ミズバショウもサトイモ科です。  
サトイモ科はなぜ独特な形になるのでしょうか。  
今度、おがキンちゃんに聞いてみましょう。

「おがキンちゃんのひとりごと」

この頃のお米不足は深刻ですね。原因が色々取り沙汰されていますが、やはり、稲作農家の  
高齢化が一つの原因です。もう一つは、私たち、都市部の人たちは消費者にしては、あまり農  
業のことを考えて来なかったことが大きいのではないのでしょうか。気がついた時（米不足）  
は、既に事態が進行していて、一朝一夕で事態を改善出来ないまでに農業を取り巻く環境が劣  
化してしまったような気がします。

簡単な計算ですが、1 haの水田から5トンの収穫された米の値段は、近頃の農家の取り分と  
して10キロあたり5000円として、5トンは250万円です。3 haで750万円。ここから、肥料  
代、耕作機械の支払い、ガソリン代その他の必要経費を引くと、恐らく良くて手取り400万円  
です。農家一軒辺りの水田面積は1.5 haですから、そもそも産業として成り立っていないので  
す。しかも、農家の平均年齢は67歳程。後期高齢者に手が届く年齢ですね。

現今の米不足の背景には、長年続けてきた減反政策の矛盾とツケが、ここに来て噴出した結  
果だと私は見えています。米（に限らないのですが）をはじめ農作物の収穫は多く、年一回で  
す。元々生産システムとしてはものすごく効率が悪いのです。それを、1日何万台も作る自動  
車産業と同列に見ること自体、誤っています。ですから、足りなくなったから米を増やそうと  
しても、それは早くて半年後です。

それ程、農業、特に水田稲作は融通の効かない産業だと思います。国民にとって必要不可欠  
な産業であるにもかかわらず、戦後の農業政策はふらついていました。減反政策は良しとし  
て、使わなくなった水田利用のあり様が中途半端だった為、耕作放棄地が増え、宅地化が進行  
してしまったのです。農業は、気がついた時は既に手遅れの場合が多いと思っています。今  
後、農家の高齢化と後継者不足がいつそう深刻になります。だから、今回の米騒動は今後も起  
こると。

米が高いの安いのと騒いで、農協やお役所を責めるのはどこかお角違いだと思っています。  
私は密かに農家の現状を考えると、今でもお米の値段は安いと思っています。口が裂けても言  
えませんが、とにかく、農業を魅力ある産業にする一番の特効薬は色々方法はあるかと思いま  
すが、とにかく農家の手取りを増やすことだと思う一人です。

私は、日本の自然の美しさは、森や山や国立公園にもありますが、最大の自然景観の管理人  
は農業者だと思っている一人です。これを考えると農業環境の価値はお米の値段だけで測れな  
い値打ちがあると思っています。

里や里山は日本人の心の故郷なのですから。（小川 均）

《2025年度の浦和西高斜面林友の会作業は、基本第2土曜日9:30～11:30に行います》

6月14日（土）、7月12日（土）、8月9日（土）集合は地学教室です。